

# 研究名： 非典型的な CPAM の症例に関するまとめ

## 1．研究の目的

Congenital pulmonary airway malformation (CPAM)は先天性肺疾患の1つである。嚢胞の大きさと組織所見から主に3 type に分類される。Type1 は胎児 MRI で緊満感のある嚢胞が典型的である。今回緊満感のない嚢胞で周囲が T2 強調で hypointensity を示した症例を4例経験したので臨床経過について報告する。

## 2．研究の方法

対象者：2002/3/1～2022/12/31 までに当センターの新生児科にて CPAM type1 と診断され、胎児期 MRI が非典型的だった方。

研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年3月末まで。

研究方法：診療録を用いた後方視的検討。

## 3．研究に用いる情報の種類

CPAM type1 と診断され、胎児期 MRI が非典型的だった方のカルテ番号を検索し、その方の診療録から、病歴・身体所見・経過・検査所見（画像・病理所見）等の情報を調べます。

**患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。**

## 4．情報の公表

研究内容は学术论文の形で公表する予定です。

## 5．研究実施機関

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科

## 6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用い

られることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2024年2月29日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科 丸山秀彦

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7424）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター 新生児科(旧所属先) 五十嵐瑞穂

国立成育医療研究センター 内分泌・代謝科(現所属先) 五十嵐瑞穂